

# THE ASTRONOMICAL HERALD

Special Exhibition in Commemoration of Hisashi Terao's 100th Anniversary of Death

寺尾壽没後百年記念企画展

東京天文台初代台長

# 寺尾壽

星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者

HISASHI TERAO

入館  
無料

2023年  
10/12(木)~12/23(土)

[水・木・金]12:00~16:00 [土]10:00~16:00

東京理科大学 近代科学資料館

[2F]多目的室 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3  
tel.03-5228-8224

**東** 京理科大学の前身である東京物理学校の創設者21人の1人である  
寺尾壽について、彼の学びと彼からの教え、さらに周囲の人々を紹介し、  
近代天文学の歴史を紹介する展示を行います。

**福** 岡県の士族出身の寺尾壽(1855-1923)は、東京大学理学部におい  
て伝語で物理学を学び、フランスのパリのソルボンヌ大学に国費留学  
して天文学など近代物理学を学び、帰国後東京大学理学部星学科教授と  
なりました。また初代物理学校校長を務め、さらに1888(明治21)年発足した  
東京天文台の初代台長に任命され31年間務めました。寺尾の生涯をたどり、  
交友のあった人々を紹介するなかで、近代天文学の基礎がどのように築かれて  
いったかを探り、その後受け継がれる天文学の未来を紹介します。

寺尾壽 没後百年記念 企画展  
**東京天文台初代台長 寺尾 壽**  
～星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者～



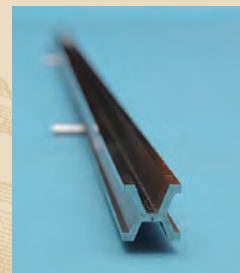
**肖像画「寺尾壽博士像」の紹介**  
1909(明治42)年に寺尾の東京大学在職25年を祝し、洋画家黒田清輝  
が描いた。「天文月報」9号(寺尾壽追悼号)には寺尾のサインを添え  
掲載された。実物は東京国立博物館所蔵。

**子午儀**  
持ち運びが可能なので、日本  
の各地の経度を決定するた  
めに使われたもの。  
<国立天文台所蔵>



「天文月報」日本天文学会発行  
1923(大正12)年9月(第16巻 第9号)  
(寺尾壽追悼号)表紙  
1908(明治41)年4月に発刊し、  
寺尾が発刊の辞を寄稿。現在も続く  
研究誌。

**日本国メートル原器(No.22)**  
1890(明治23)年にフランスから  
日本に到着し、1960(昭和35)年  
まで1mの基準として用いられた。  
<産業技術総合研究所所蔵:国の  
重要文化財> ※展示はレプリカ



★ 関連トークイベント ★

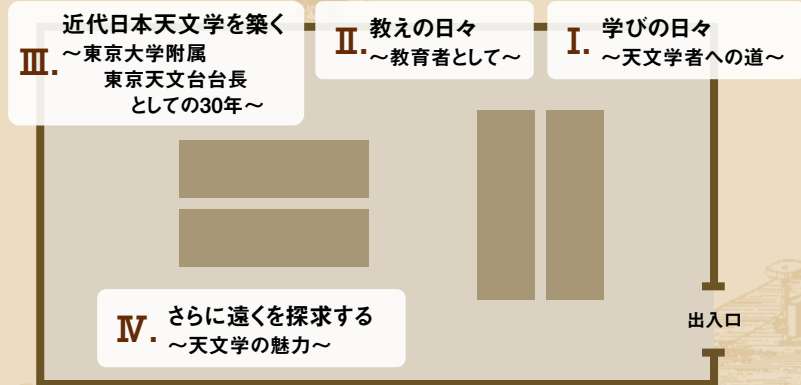
11月24日(金)「**数学で解く宇宙**」  
15:00～16:00

講師 佐古彰史 東京理科大学理学部第二部数学科教授

事前申し込み・詳細は当館HPへ!

<下記、開催日は開館しています>

10月29日(日)「**ホームカミングデー**」  
11月24日(金)・25日(土)「**理大祭**」



期 間 2023年10月12日(木)～12月23日(土)

開館時間 水曜・木曜・金曜 12:00～16:00  
土曜 10:00～16:00 **入館無料**

休館日 日曜・月曜・火曜・祝日

場 所 東京理科大学 近代科学資料館 2F多目的室

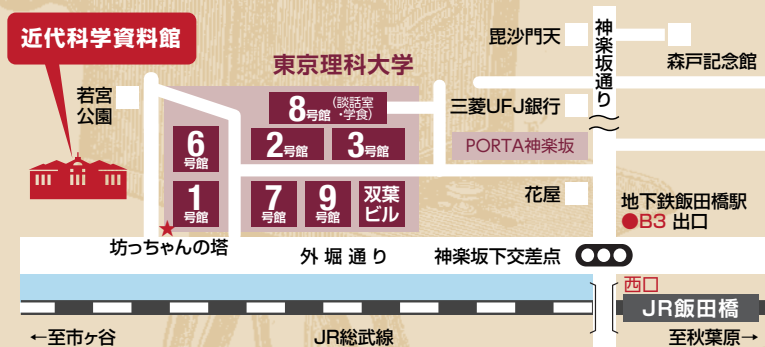
住 所 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

T E L 03-5228-8224

ホームページ <https://www.tus.ac.jp/museum/>

主 催 東京理科大学 近代科学資料館

展示協力 一般社団法人 学士会  
公益社団法人 日本天文学会  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台  
独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所  
福岡県立修猷館高等学校



「JR 飯田橋駅」西口 徒歩4分 / 「地下鉄飯田橋駅」B3出口 徒歩3分



神楽坂  
**まち飛びフェスタ**  
2023

